

平成27年7月23日
日本原燃株式会社
東北電力株式会社
東京電力株式会社
リサイクル燃料貯蔵株式会社

下北半島東部の地質構造調査に関する最終評価結果について

日本原燃株式会社、東北電力株式会社、東京電力株式会社[※]およびリサイクル燃料貯蔵株式会社（以下、「事業者」という）は、平成24年11月から平成26年5月にかけて共同で下北半島東部の地質構造に関する調査を実施してまいりました。
※東京電力株式会社は平成25年5月から調査に参画。

このほど、海底地形面調査、海上音波探査および採泥調査の結果（平成25年12月17日お知らせ済み）に加え、海上ボーリング調査、海陸統合探査等の結果を踏まえ、最終的な評価としてとりまとめましたのでお知らせいたします。

これまでの調査結果を総合的に評価した結果、大陸棚外縁部の深部地質構造、各地層の年代等について知見の拡充が図られ、あらためて大陸棚外縁断層は約25万年前以降の活動が認められないこと、大陸棚上および大陸棚外縁部の急斜面の地質は新第三紀中期中新世（約1,600～1,200万年前）に堆積した地層であること等を確認いたしました。

なお、本評価については、有識者から構成される第三者委員会を設け客観的な立場から幅広くご指導、ご助言をいただきながら実施してきたものです。

以 上

（別 紙）下北半島東部の地質構造調査に関する最終評価結果の概要
（参 考）これまでの主な経緯